

## インストールガイド Smart-UPS™ On-Line 拡張バッテリーパック SRT192BP/SRT192BP2/ SRT192BPJ/SRT192BP2J

### 安全に関する注意事項

本指示内容をお守りください - この説明書にはSmart-UPSおよびバッテリーの設置と保守の際に従うべき重要な注意事項が記載されています。

装置の設置、運用、修理、保守を実施する前に、これらの指示内容を注意深くお読みいただき、装置をよく理解してください。危険の可能性を警告するため、あるいは手順を明確にするまたは簡単にする情報に注意を促すため、次の特別メッセージが本掲示全体を通じ、または装置上に示されている場合があります。



「危険」または「警告」のどちらかの製品安全ラベルに追加のこの記号があるときは、その指示に従わない場合に人身傷害につながる電氣的危険が存在することを示します。



この記号は安全警告記号です。お客様の人身傷害の可能性に対する注意を喚起する目的で使用されています。傷害や死亡の危険を避けるために、記号の後に記載されている全ての安全に関する注意事項に従ってください。

#### ⚠ 危険

危険は、危険となりうる可能性を示しており、回避措置を講じない場合は、死亡または重傷につながります。

#### ⚠ 警告

警告は、危険となりうる可能性を示しており、回避措置を講じない場合は、死亡または重傷につながる恐れがあります。

#### ⚠ 注意

注意は、危険となりうる可能性を示しており、回避措置を講じない場合は、軽度または中度の怪我につながる恐れがあります。

#### 通知

通知は、怪我に関連しない製品使用上の留意事項に対処するために使用されます。

### 製品取り扱いガイドライン



<18 kg  
<40 lb



18-32 kg  
40-70 lb



32-55 kg  
70-120 lb



>55 kg  
>120 lb



# 安全および一般情報

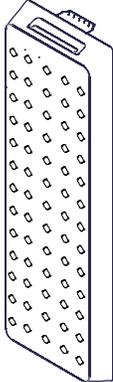
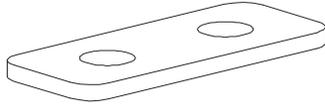
- 国および地域の電気規則すべてに従ってください。
- APC by Schneider Electric が明確に認めない、この装置に対する変更や改造を行うと、保証が無効になることがあります。
- 本装置は室内の管理された環境下でのみ使用することを意図しています。
- 本装置を、直射日光が当たる場所、液体に触れるような場所、あるいは過度のほこりや湿度のある場所では作動させないでください。
- 本装置の通気孔を塞がないでください。適度な換気を得るための適切なスペースを確保してください。
- UPSと拡張バッテリーパックは、互いに、および主電源接地システムに正しく接地する必要があります。
- バッテリーを設置または交換する前に、腕時計、指輪等のアクセサリを外してください。導電性物質を通して、高い短絡電流が発生した場合、重度のやけどを引き起こすことがあります。
- バッテリーの標準的な寿命は2～5年です。使用環境の条件によってバッテリーの寿命が変わります。なお、大気温度が高い条件下での使用、低品質な商用電源の使用、短時間の頻繁な放電はバッテリーの寿命を短くします。
- UPSがバッテリーの交換の必要を示したとき、またはバッテリーの期待寿命年数を経過したときは、ただちにバッテリーを交換してください。これを怠ると、装置の損傷や怪我を招く恐れがあります。
- UPSは、UPSに接続した 10台のXLBPを認識します。  
**注：XLBPを追加した場合、通常より充電に時間がかかります。**
- 本装置は重量物です。装置の重量に適した安全吊り上げ技術を常に実践してください。
- バッテリーは相当な重量があります。ラックにUPSと拡張バッテリーパック (XLBP) をインストールする前にバッテリーを取り外してください。
- 常にXLBPをラックマウント構成の1番下に取り付けてください。UPSは必ず、XLBPの上に設置されなければいけません。
- バッテリーを火中に投じて処分しないでください。バッテリーが爆発する恐れがあります。
- バッテリーを分解しないでください。流れ出る電解液は有毒であり、皮膚や目に傷害を与える恐れがあります。
- 常に使用済みバッテリーをリサイクルしてください。
- 梱包材をリサイクルまたは再利用のために保存します。
- その他の安全情報は、この装置に付属している安全ガイドを参照してください。

## 概要

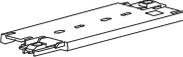
- 拡張バッテリーパック (XLBP) が適切に設置できたかを検証するため、UPSディスプレイ インターフェイスに移動します。  
アラームテストを実行して、UPSがXLBPを認識したかどうか確認します。  
通信が正常に確立していれば、XLBPのLEDが点滅します。
- XLBPのステータスが UPSディスプレイ インターフェイス画面で表示される場合、対応するXLBPのLEDが点滅します。
- RBCを交換する必要がある場合は、ランタイムキャリブレーションテストを実施し、バッテリーの交換が必要かどうかを検証します。

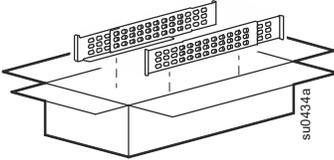
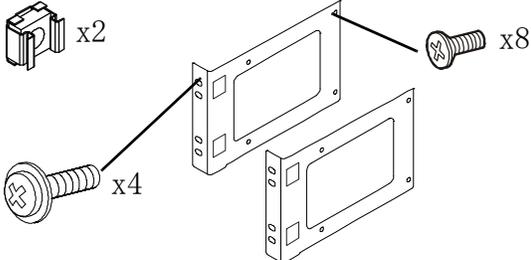
# 同梱物の内容

受領した時点で内容物を点検してください。破損が見られる場合は、運送業者および販売店までお知らせください。

全モデルに含まれるもの			
<p>前面ベゼル</p> 	<p>接地用ケーブル</p>  <p>接地用ケーブルを固定するなべ小ねじ 2本</p> 	<p>タイブラケット 2個</p>  <p>タイブラケットを固定する平頭ねじ 4本</p> 	<p>XLBP バッテリーケーブルコネクタを XLBP または UPS に固定するなべ小ねじ 1本</p> 

SRT192BP/SRT192BP2/SRT192BPJのみに含まれます
<p>ユーザー マニュアル CD</p> 

SRT8K/SRT10K モデルのみに付属	
<p>バッテリー 通信ケーブル (BATT COMM)</p> 	
SRT5K/SRT6K タワー モデルのみに付属	
<p>スタビライザーブラケットは SRT5K/SRT6Kモデルに付属しています XLBPには1個のスタビライザーブラケットコネクタが含まれています</p> 	<p>M4皿ネジをねじ込み、タワー固定用ブラケットをUPSに固定します。</p> 

ラックマウントモデルのみに含まれるもの	
<p>レールをラック内に取り付ける指示書とハードウェア付きレールキット</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラックマウントブラケット 1組</li> <li>8本の皿ネジを使用して、UPSにラックマウント型ブラケットを固定します</li> <li>ラックマウントブラケットをレールに固定する化粧ねじ 4本</li> <li>2 ケージナット</li> </ul> 

# 仕様

詳細については [www.apc.com](http://www.apc.com) にてAPC by Schneider Electricのホームページをご覧ください。

## 環境要件

温度	動作時	0 °C ~ 40 °C (32 °F ~ 104 °F)
	保管時	-15 °C ~ 45 °C (5 °F ~ 113 °F)
最大高度	動作時	0 - 3,000 m (0 - 10,000 ft)
	保管時	0 - 15,000 m (50,000 ft)
湿度	相対湿度 0% ~ 95%、結露なきこと	
保護等級	IP 20 定格	
注：保管中は半年毎にバッテリーモジュールを充電してください。 環境要因はバッテリーの寿命に影響を与えます。周囲温度が高い条件下での使用、高湿度での使用、低品質な電源、短時間の頻繁な放電はバッテリーの寿命を縮めます。		

## 物理面

XLBP は相当な重量があります。持ち上げガイドラインに従ってください。

バッテリーを含む装置重量、梱包なし	91 kg (201 lb)
バッテリーを含む装置重量、梱包あり	102 kg (225 lb)
装置寸法、梱包なし 高さ x 幅 x 奥行き	130 mm x 432 mm x 682.7 mm 5.1 in x 17 in x 26.9 in
装置寸法、梱包あり 高さ x 幅 x 奥行き	420 mm x 600 mm x 1000 mm 16.5 in x 23.6 in x 39.4 in
モデル名とシリアル番号は背面パネルの小さなラベルに示されています。	

## バッテリー

### ▲ 注意

#### 硫化水素や過度の煙の危険

- 少なくとも 5 年毎にバッテリーを交換してください。
- UPSがバッテリーの交換が必要な示されたときすぐにバッテリーを交換してください。
- バッテリーの期待寿命年数を経過した場合、交換してください。
- バッテリーは、もともと装置に取り付けられていたものと同じ数と種類のものに交換してください。
- UPSが温度過昇状況を示しているか、または電解液漏出の形跡がある場合には、直ちにバッテリーを交換してください。UPS の電源を切り、AC(交流)入力を切り離して、バッテリーを外します。バッテリーを交換するまで、UPSを動作させないでください。
- \*追加のバッテリーパックを取り付けたり、バッテリーモジュールを交換したりする場合は、拡張バッテリーパックのモジュールを含め、1年以上経過しているすべてのバッテリーモジュールを交換してください。

これらの指示に従わない場合、装置の損傷、軽度または中程度の傷害を招く恐れがあります。

\*お取り付けのバッテリーモジュールの使用年数を調べるには、APC by Schneider Electricのワールドワイドカスタマーサポートにお問い合わせください。

バッテリータイプ	密閉型、メンテナンス不要、制御弁式鉛蓄電池
交換用バッテリーモジュール 本UPSは交換可能なバッテリーモジュールを搭載しています。 取り付け手順については、交換するバッテリーの適切なユーザーマニュアルを参照してください。 バッテリーモジュールの交換については、販売店に問い合わせるか、APC by Schneider Electricのウェブサイト <a href="http://www.apc.com">www.apc.com</a> を参照してください。	SRT5KXLJ/SRT8KXLJ/SRT10KXLJ モデル: APCRBC140J その他全モデル: APCRBC140
バッテリーモジュールの数	バッテリーモジュール 4台
各バッテリーモジュールの電圧 UPSの総合電圧 Ah 定格	96 VDC 192 VDC バッテリーモジュールにつき5 Ah
XLBP ケーブル長	500 mm (19.7 in)

バッテリーモジュール	UPS	XLBP
APCRBC140	SRT5KXLx/SRT5KRMXLx/SRT6KXLx/SRT6KRMXLx (SRT5KXLJを除く)	SRT192BP/SRT192RMBP
	SRT8KXLx/SRT8KRMXLx/SRT10KXLx/SRT10KRMXLx (SRT8KXLJ/SRT10KXLJを除く)	SRT192BP2/SRT192RMBP2
APCRBC140J	SRT5KXLJ	SRT192BPJ
	SRT8KXLJ/SRT10KXLJ	SRT192BP2J

# バッテリーモジュールの取り外し

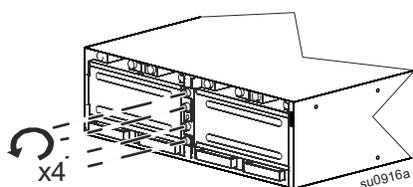
## ▲ 注意

### 装置落下の危険

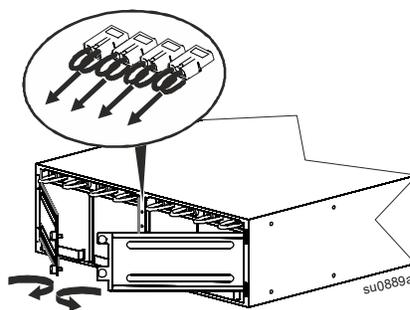
- 本装置は重量物です。各バッテリーモジュールの重量は17 kg (37 lb) です。
- 装置の重量に適した安全吊り上げ技術を常に実践してください。
- UPSを設置する前に、バッテリーモジュールを取り外してください。
- バッテリーモジュールをUPSに出し入れする際に、バッテリーモジュールハンドルを使用します。
- バッテリーモジュールを持ち上げたり、運んだりする際に、バッテリーモジュールハンドルを使用しないでください。

これらの指示に従わない場合は、機器の破損や軽度または中程度のケガを引き起こす恐れがあります。

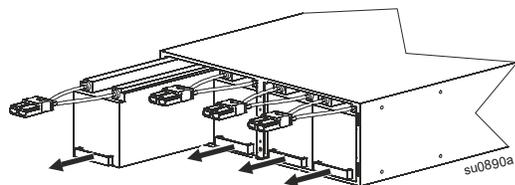
①



②



③



# ラックマウントの設置

UPSモデルは、図で説明しているものとは外観が異なる場合があります。XLBP設置プロセスは全モデルで同一です。

レールを設置する場合、レールキット設置ガイドを参照してください。

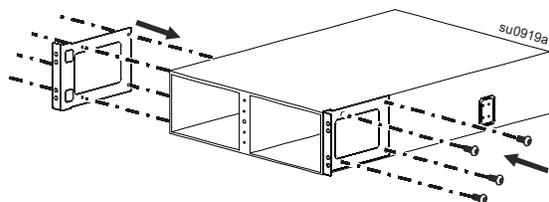
## ▲ 注意

### 装置落下の危険

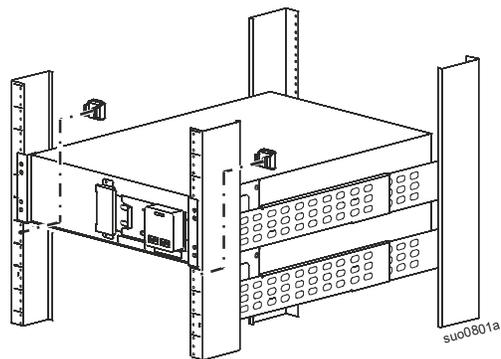
- 本装置は重量物です。装置の重量に適した安全吊り上げ技術を常に実践してください。
- ブラケットをUPSに固定するには、常に推奨する番号のねじを使用してください。
- UPSをラックに固定するには、ガイドに従い適切な数のネジを使用してください。
- UPSを常にラックの底に取り付けてください。
- XLBPを常にラックのUPSの下に取り付けてください。

これらの指示に従わない場合は、機器の破損や軽度または中程度のケガを引き起こす恐れがあります。

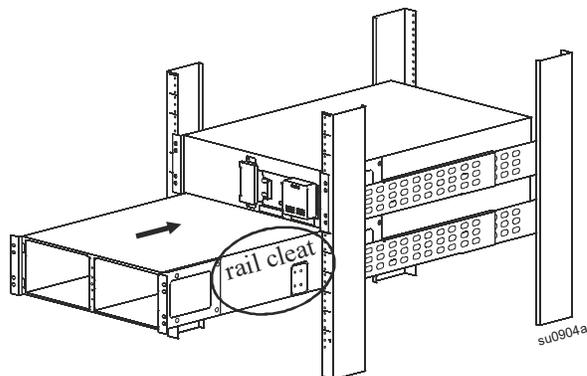
- ❶ 2 個のブラケットを XLBP に固定します。  
各ブラケットに 4 本のネジを使用します。



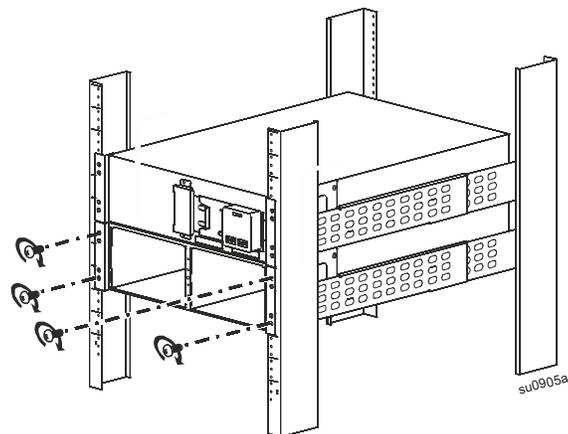
- ❷ 2 つのケージナットを取り付けてください。



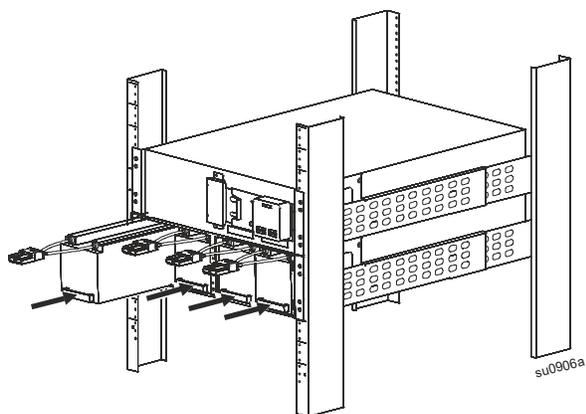
- ❸ レール棚に XLBP を置きます。  
ラックの中へ XLBP を引き込みます。



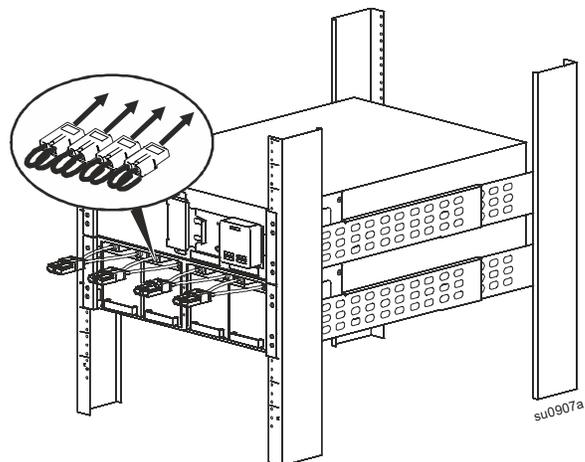
- ❹ XLBP をラックに固定します。  
各ブラケットに 2 本のねじを使用します。



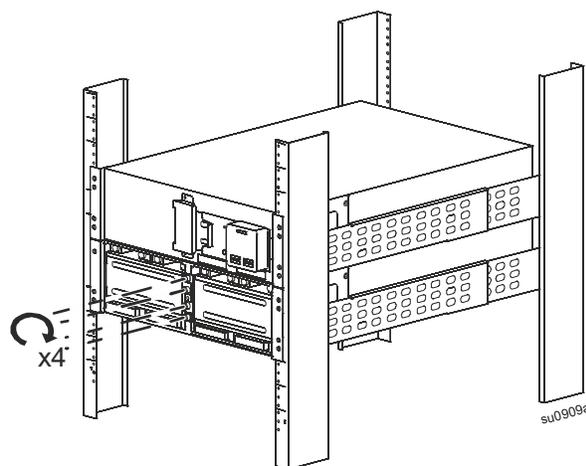
5 4個のバッテリーモジュールを取付けします。



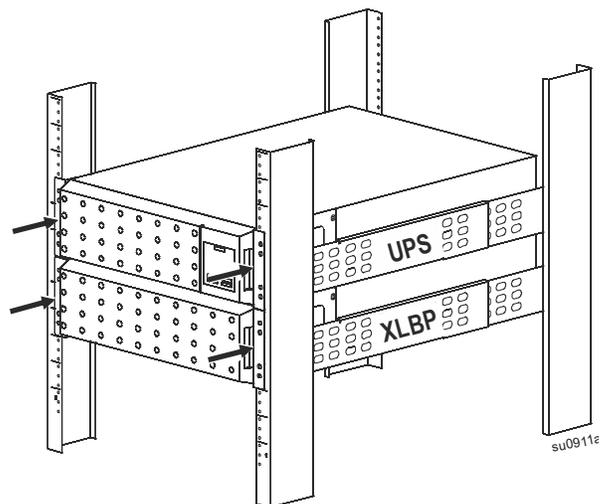
6 4個のバッテリーモジュールのコネクターを接続します。



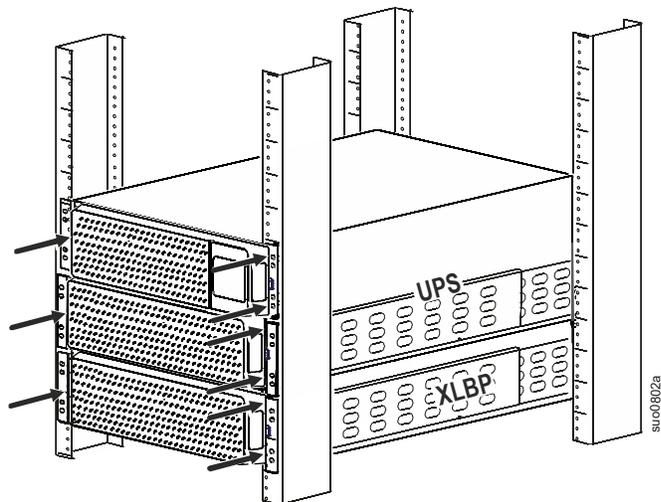
7 バッテリー収納部のドアを取り付けます。  
つまみネジを締めて、ドアを固定します。



8 XLBP 1個搭載のUPS モデルSRT5K/SRT6K  
XLBP ベゼル 1個とUPS ベゼル 1個を設置します。



XLBP 1個搭載のUPS モデルSRT8K/SRT10K  
XLBP ベゼル 1個とUPS ベゼル2個をインストールします。



# タワーの設置

## ▲ 注意

### 装置落下の危険

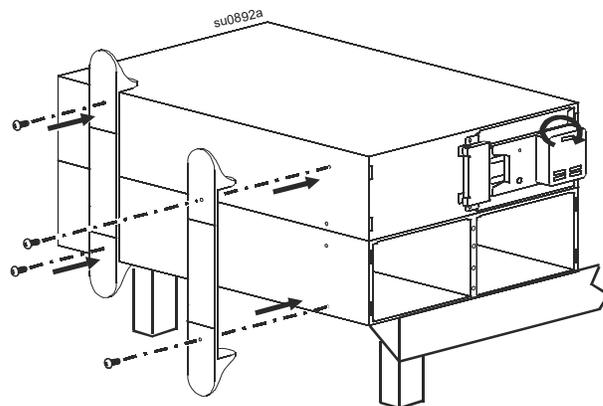
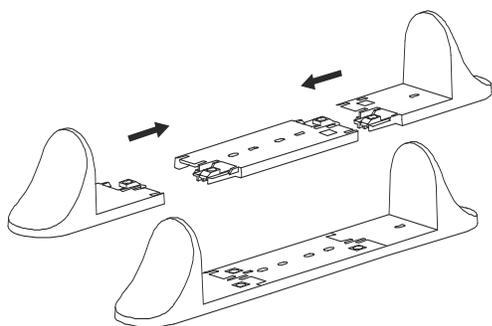
- 本装置は重量物です。各バッテリーモジュールの重量は17 kg (37 lb) です。
- 装置の重量に適した安全吊り上げ技術を常に実践してください。
- UPSを設置する前に、バッテリーモジュールを取り外してください。
- バッテリーモジュールをUPSに出し入れする際に、バッテリーモジュールハンドルを使用します。
- バッテリーモジュールを持ち上げたり、運んだりする際に、バッテリーモジュールハンドルを使用しないでください。

これらの指示に従わない場合は、機器の破損や軽度または中程度のケガを引き起こす恐れがあります。

UPS モデルは、図で説明しているものとは外観が異なる場合があります。XLBP 設置プロセスは全モデルで同一です。

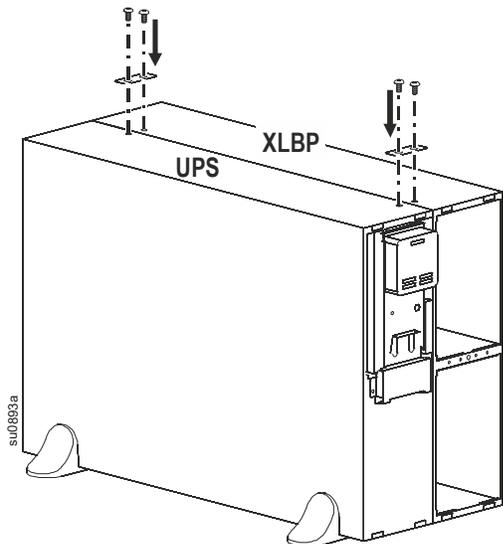
### スタビライザーの取り付け UPS モデル SRT5K/SRT6K のみ

スタビライザーがSRT5K/SRT6K UPSモデルに付属しています。

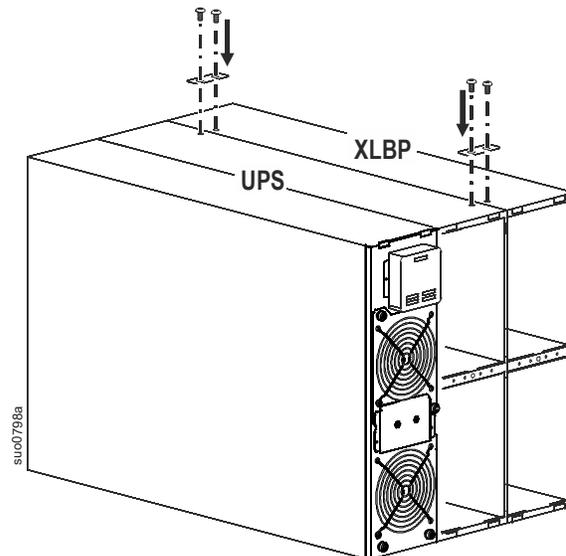


## ブラケットの取り付け UPSモデル全機種

① XLBP 1 個搭載のUPS モデルSRT5K/SRT6K



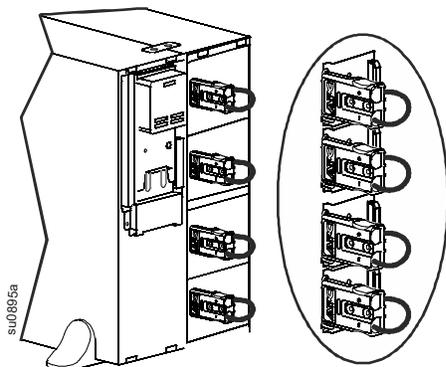
② XLBP 1 個搭載のUPS モデルSRT8K/SRT10K



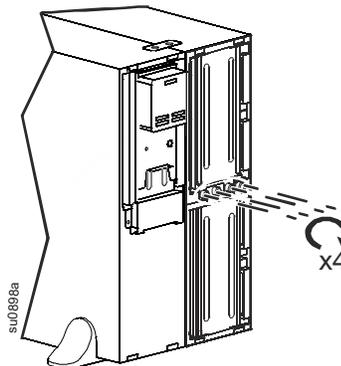
## バッテリーモジュールとベゼルの設置

### SRT5K/SRT6K UPSモデル

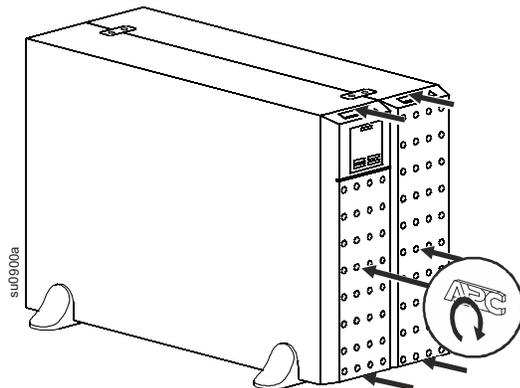
① 4個のバッテリーモジュールをXLBPにスライドさせて取り付けます。  
4 個のバッテリーモジュールを接続します。



② バッテリー収納部のドアを取り付けます。  
つまみネジを締めて、2 つのドアを固定します。

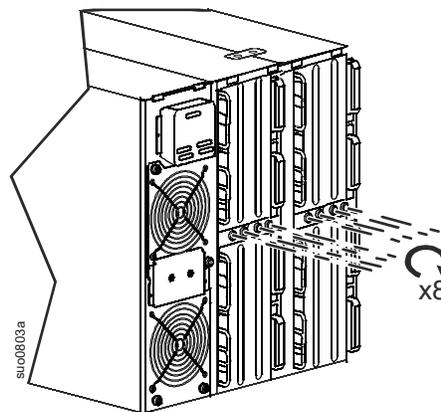
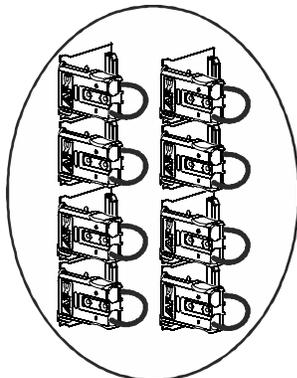
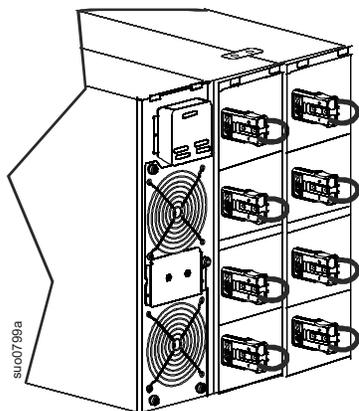


③ 2 個のベゼルを取り付けます。

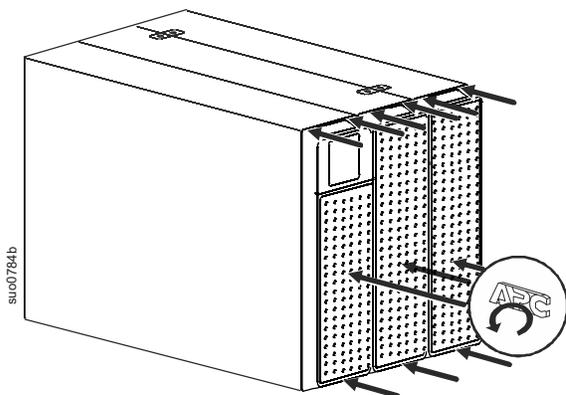


## SRT8K/SRT10K UPSモデル

- ① 4個のバッテリーモジュールをスライドさせUPSに取り付けます。XLBPの4個のバッテリーモジュールを取り付け、それぞれのバッテリーのコネクターを接続します。
- ② バッテリー収納部のドアを取り付けます。つまみネジを締めて、ドア4個を固定します。



- ③ 3個のベゼルを取り付けます。



# 接地ケーブルとバッテリーケーブル

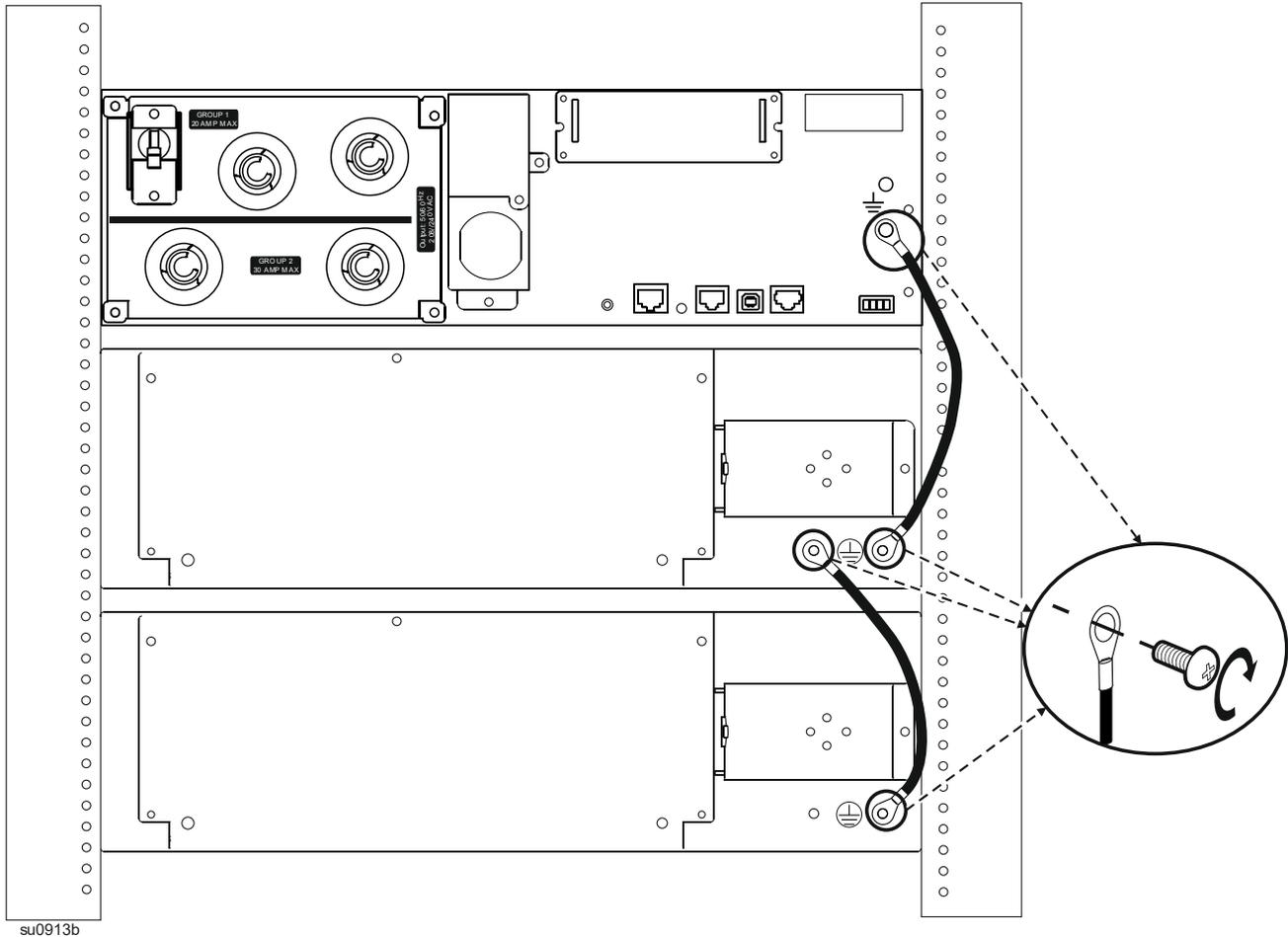
UPS モデルは、図で説明しているものとは外観が異なる場合があります。プロセスはすべてのモデルで同じです。

## SRT5K/SRT6K モデル

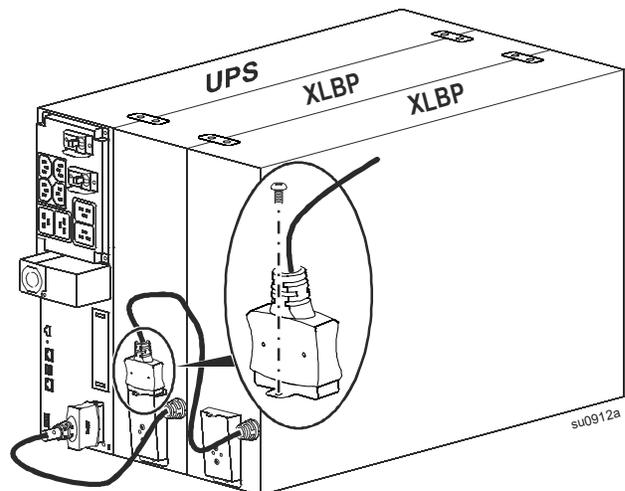
### 接地用ケーブルの接続

推奨締め付けトルク 2.72 Nm (24 lbf-in)

### 拡張バッテリーパックケーブルの接続



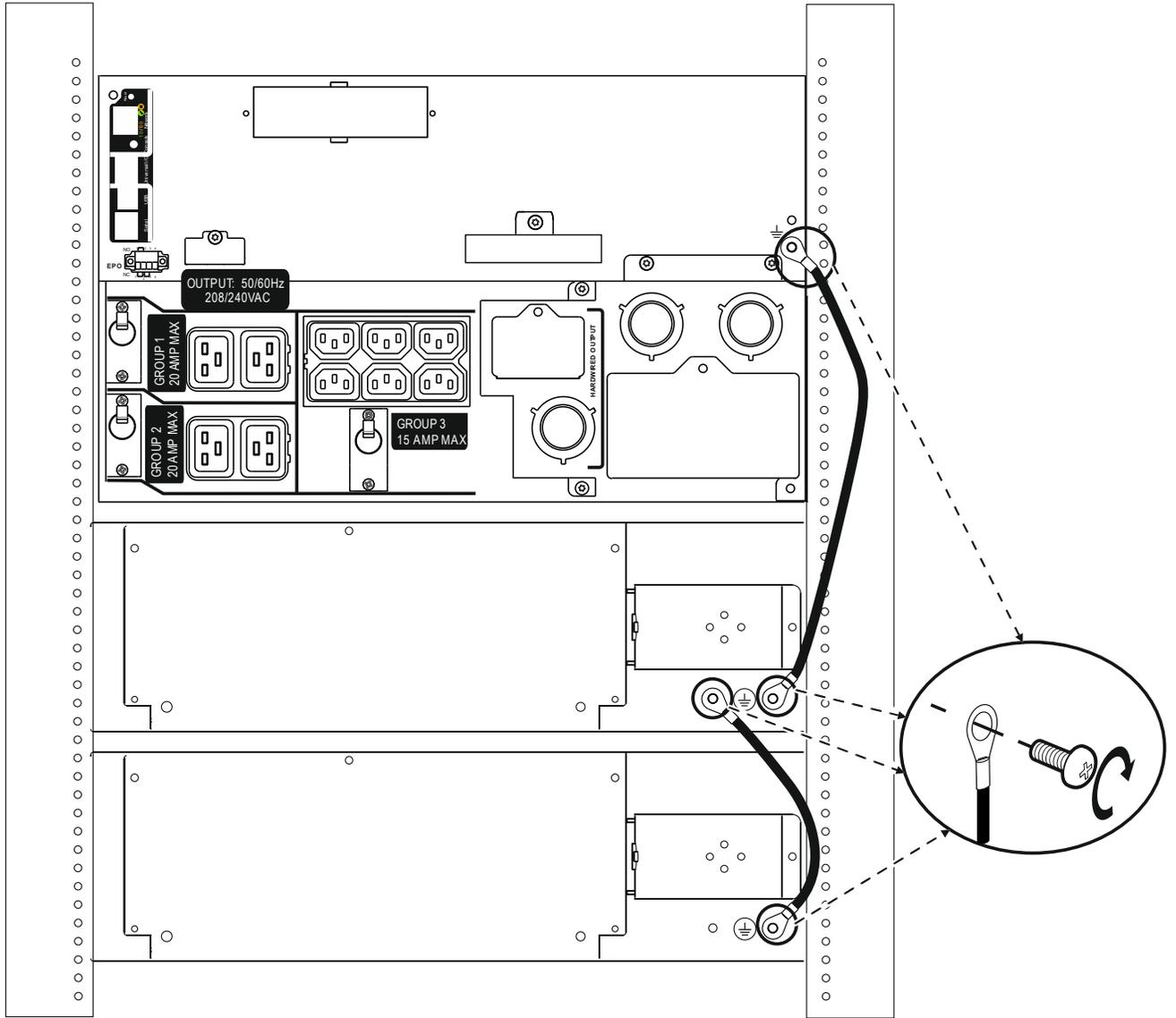
UPS 拡張バッテリーパックコネクターにはカバーがあり、ねじで固定されています。  
ねじとカバーを外します。  
拡張バッテリーパックを接続します。



# SRT8K/SRT10K モデル

## 接地用ケーブルの接続

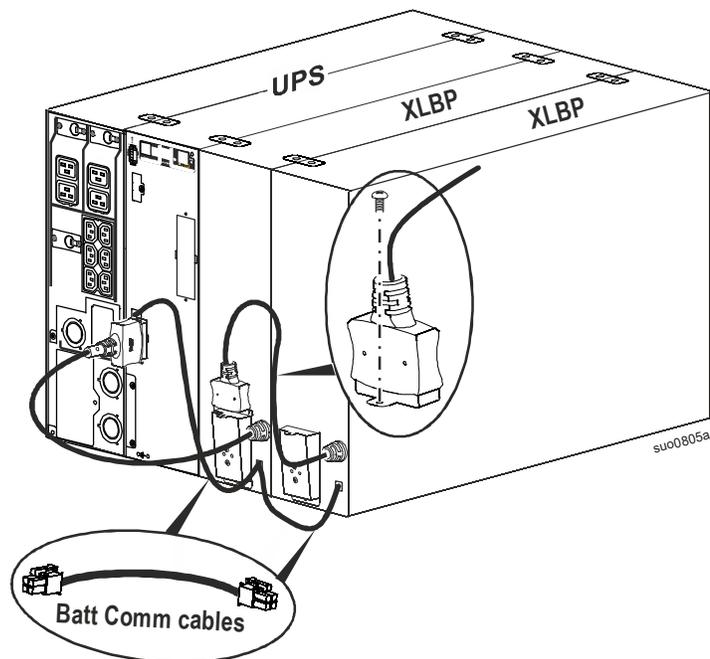
推奨締め付けトルク 2.72 Nm (24 lbf-in)



suo0806b

UPSバッテリーパック、拡張バッテリーパック、および通信ケーブルを接続します。

UPSの拡張バッテリーパックコネクタには、ネジで固定されたカバーが付いています。ねじとカバーを外します。拡張バッテリーパックを接続します。



## スマートバッテリー管理

### 定義

- ・ バッテリーモジュール：バッテリーセルを組み合わせたコネクタ付きバッテリー組み立て品。
- ・ 交換可能なバッテリーカートリッジ（RBC）：2台のバッテリーモジュールから構成するAPCバッテリーカートリッジ。交換用RBCはAPC by Schneider Electricのホームページ [www.apc.com](http://www.apc.com) で注文できます。
- ・ スマート拡張バッテリーパック（XLBP）：RBCとバッテリー管理電子回路を含む筐体。
- ・ ユーザーインターフェイス（UI）：ユーザーがシステムと相互に関わるためのインターフェイス。これにはUPS ディスプレイ インターフェイス、ネットワーク管理インターフェイス、またはPowerChute™ ネットワーク シャットダウン ソフトウェアが含まれる場合があります。

注： APC by Schneider Electricによって承認されていないバッテリーを使用しないでください。APC by Schneider Electric が承認していないバッテリーの存在をシステムが検出せず、システムの操作に悪影響を及ぼす可能性があります。

APC by Schneider Electric が承認していないバッテリーを使用すると、メーカーの保証が無効になります。

### 保守

- ・ RBCのメンテナンス： APC by Schneider Electric の RBC は密閉型の鉛蓄電池セルを使用していて、メンテナンスは不要です。
- ・ ランタイムテスト（較正）：これは安定した状態で負荷が劇的に変更された場合には常に実行されます。例えば新しいサーバーが追加された場合や、UPSの負荷から撤去された場合などです。
- ・ バッテリー状態監視：バッテリーの電力出力と電圧を監視して、UPSがバッテリーで作動している場合に設置したバッテリーの状態を評価します。  
UPSがセルフテスト、ランタイムキャリブレーションテスト中そしてUPSがバッテリー電源で作動中の場合、バッテリー状態監視を行います。  
UPSは定期的に、自動的にセルフテストを行うように設定できます。

## バッテリーの寿命

- **バッテリー交換時期通知**：各RBCが交換時期になるとUPS ディスプレイインターフェイス画面に案内メッセージが表示されます。設定の詳細については、UPS 操作マニュアルの**交換通知時間 (Replacement Notification Time)**および**バッテリー交換アラーム時間 (Replacement Battery Alarm Time)**を参照してください。  
各RBCの想定される交換日はUIからチェックできます。
- **バッテリー交換通知**：RBCの交換が必要になると、UPSインターフェイス画面に表示されます。RBCをできるだけ早く交換する必要があります。

UPS ディスプレイインターフェイスは、他にも交換時期の近いRBCがあれば交換の勧告を行います。

**注**：交換時期を過ぎたバッテリーを使い続けるとバッテリーに損傷を与える可能性があります。

- **リサイクル**：XLBPからRBCを取り外します。RBCをリサイクルします。RBCを分解しないでください。

## 新しいRBCまたはXLBPを設置した後、推奨される行動

次のテストのため、**テストと診断メニューオプション**の詳細については、UPS 操作マニュアルを参照してください。

- セルフテスト
- ランタイムテスト
- アラームテスト

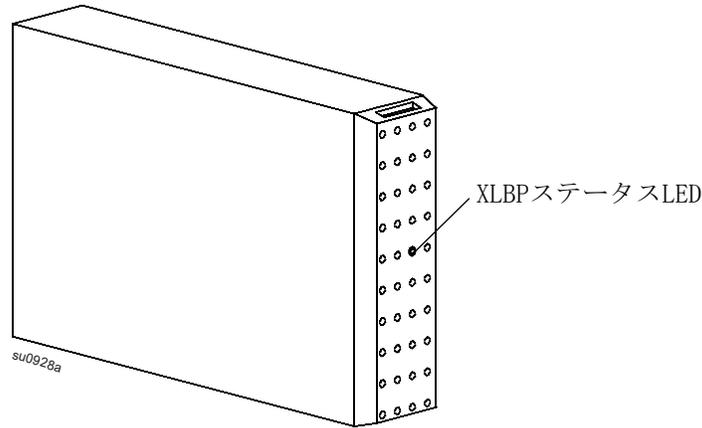
新しいRBCまたはXLBPを設置した後、次の内容を実施してください。

- UPS が入力電源に接続され、出力電源がオンしていることを確認します。取扱説明書の**操作セクション**を参照してください。
- 新しい XLBP を設置した場合、その XLBP をシステムが検出したかを検証します。
  - UPS **アラームテスト**を実行してください。
  - インストールした全てのXLBPのLED が点滅しているか確認してください。
- 交換用バッテリーカートリッジ(RBC)が適切に設置できたかを検証するため、UPS ディスプレイ インターフェイスに移動します。ステータスメニューを使って、UPSがRBCを認識しているかを検証します。
- UPS 負荷が 400 ワットより大きいことを検証します。これは UPSディスプレイインターフェイスに表示されます。
- UPSの**セルフテスト**を行います。
- XLBP の設置時に UPS の入力電力を利用できなかった場合、UPSの出力をバッテリー電源から30秒間オンにします。これで UPS が、設置した全RBCを検出できます。  
UPS のオン/オフの方法については、UPS 操作マニュアルを参照してください。
- UPS ディスプレイ インターフェイスで、交換したRBCの設置日が今日の日付に設定されていることを確認します。  
設置日は UPS ディスプレイ インターフェイスで手動で変更できます。  
全 RBC を同時に交換すると、設置日はすべて同時に変更されます。  
設定の詳細については、操作マニュアルの**バッテリーインストール日付 (Battery Install Date)**を参照してください。
- システムを24時間充電して、全稼働時間での作動能力を確保します。
- UI から**ランタイムキャリブレーションテスト**を開始します。

## ユーザーインターフェイス

**ステータス/エラー通知を表示：**接続した XLBP のステータスは UPS ディスプレイ インターフェイス メニューオプションを使って表示できます。

- **XLBP ステータス LED：**XLBP LEDが赤く点灯する場合、3 種類のステータスが考えられます。
  - オフ：メッセージ無し。これがデフォルトのステータスです。
  - 赤く点灯：XLBPがUPSと通信できません。XLBP コントローラーが機能していません。
  - 赤く点滅：
    - 区別をするため、各 XLBP は自動的に番号を割り振られます。特定の XLBP の番号を確認するには、UPS ディスプレイ インターフェイスのメニューオプションを使用します。XLBP 番号を選択します。その番号が割り振られているXLBPのLEDが点滅します。
- **XLBP LED テスト：**UPS ディスプレイ インターフェイスから**アラームテスト**を実行してLEDの動作をテストことができます。このコマンドにより、接続した各 XLBP の LED が点滅します。
- **システムインターフェイス：**バッテリーのステータス、案内測定結果が UPS ディスプレイ インターフェイス画面に表示されます。UPS 操作マニュアルを参照してください。



# トラブルシューティング

事例	考えられる原因	処置
XLBP LEDが点滅する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>UPS ディスプレイ インターフェイスが XLBP ステータスを問い合わせている</li> <li>UPSがアラームテストのリクエストを行っています。</li> <li>RBCを交換する必要があることを示しています</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>措置は必要ありません。</li> <li>措置は必要ありません。</li> <li>詳細情報は UPS ディスプレイ インターフェイス画面を参照してください。</li> </ul>
XLBP LEDが点灯したまま	ハードウェア エラーの可能性がありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>APC by Schneider Electric カスタマサポートお問い合わせください。連絡先については、<b>操作マニュアル</b>のサービスセクションを参照してください。</li> </ul>
UPS ディスプレイ インターフェイスが RBC 切断メッセージを表示している	<ul style="list-style-type: none"> <li>RBCが接続されていない</li> <li>RBCのハードウェアに不具合があります。</li> </ul>	<p>RBC を接続します。UPS が RBC を認識していることを検証します。</p> <p>UPSのセルフテストを行います。</p> <p>ディスプレイインターフェイス画面からメッセージが消えない場合、RBC を交換します。</p>
XLBPが認識されない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>通信で問題が発生しました。</li> <li>ハードウェア エラーの可能性あります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>XLBP へのバッテリーの接続が確実に行われているかチェックします。</li> <li>XLBP と UPS の接続が確実に行われているかチェックします。</li> <li>アラームテストを実行して、LEDが点滅することを確認してください。</li> <li>問題が解決されない場合は、APC by Schneider Electric カスタマサポートにご連絡ください。連絡先については、<b>操作マニュアル</b>のサービスセクションを参照してください。</li> </ul>
UPS ディスプレイ インターフェイスが XLBP 切断メッセージを表示している	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源ケーブルがXLBPまたはUPSに確実に接続されていない</li> <li>XLBPのハードウェアに不具合があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>XLBP へのバッテリーの接続が確実に行われているかチェックします。</li> <li>アラームテストを実行して、LEDが点滅することを確認してください。</li> <li>問題が解決されない場合は、APC by Schneider Electric カスタマサポートにご連絡ください。連絡先については、<b>操作マニュアル</b>のサービスセクションを参照してください。</li> </ul>

# 期間限定の工場保証

Schneider Electric IT Corporation (SEIT) は、購入日から 2年間、バッテリーを含めてその製品に材料および製造上の欠陥がないことを保証します。本保証では、SEITの義務は欠陥商品の修理または交換に限らせていただきます（修理、交換の判断は弊社側で行います）。本項に記載の欠陥製品またはその部品の修理または交換により元の保証期間が延長されることはありません。

本保証は、ご購入日から10日以内に当該製品を適切に登録された当初のご購入者にのみ適用されます。製品は、オンライン（[warranty.apc.com](http://warranty.apc.com)）で登録することができます。

申し立てられた「製品」の欠陥がSEITのテストまたは検査の結果存在しないと判明した場合、あるいはお客様または第三者の誤用、過失、不適切な設置、テスト、操作、またはAPCの推奨事項や仕様と反した「製品」の使用によるものであることが判明した場合、SEITは本保証下での責任を負わないものとします。さらに、SEITは、以下に起因する欠陥については責任を負わないものとします。1) 製品の承認されていない修理または改造の試み、2) 不適切または不十分な電圧または接続、3) 現場での不適切な動作条件、4) 不可抗力、5) 素子への暴露、または 6) 盗難。SEITは、シリアル番号が変更、摩損、削除された製品については、いかなる保証もいたしません。

上記の場合を除き、本契約書またはここに記載された条件に基づき販売、修理、または提供された製品に適用される、法律の運用またはその他による明示的または黙示的な保証事項はありません。

SEITは、商品適格性、満足度、および特定の目的への適合性に関するすべての黙示的な保証についてはすべてその責任を負わないものとします。

本製品に関してSEIT が提供する技術面やその他のアドバイスまたは修理によってSEIT の明示的な保証が拡大、縮小、または影響を受けないものとし、またかかるアドバイスや修理からいかなる義務または責務も派生しないものとします。

以上の保証および救済措置は限定的なものであり、その他のすべての保証および救済措置に代わるものではありません。上記の保証が当該保証のあらゆる不履行に対するSEIT の唯一の責務であり、購入者に対する救済措置です。SEITの保証は当初の購入者にのみ適用され、いかなる第三者にも拡大適用されません。

SEIT、その役員、取締役、支社、従業員は、いかなる場合も、製品の使用、修理、又は設置から生じたいかなる形式の間接的、特別、結果的、懲罰的損害についても、その損害が契約によるものかまたは不法行為によるものかを問わず、過失又は怠慢、厳格責任に関係なく、また、SEIT が事前にそのような損害の可能性を通知されていたかどうかに関わらず、その責任を負わないものとします。特に、利益損失、収入損失（直接、間接を問わず）、機器の損失、機器の使用機会の損失、ソフトウェアの損失、データの損失、交換機器の代価、第三者からの請求等のあらゆる代価に対して SEIT は責任を負いません。

本限定保証のいかなる部分も、怠慢または過失による不実表示から、適用法によって除外または限定できない範囲で生じた死亡または個人的傷害に対するSEITの責任を除外、限定することを求めるものではありません。

保証対象の修理を受けるには、カスタマーサポートからRMA番号（修理受付整理番号）を取得してください。保証請求の対象となるお客様は、APC by Schneider Electricのウェブサイトを通じて、SEITのワールドワイドカスタマーサポートネットワークにアクセスすることができます。[www.apc.com](http://www.apc.com)。国選択ドロップダウンメニューからお客様の国を選択してください。ウェブページの上部にある「サポート」タブを開くと、お住まいの地域のカスタマーサポートに関する情報が入手できます。製品は送料を事前に支払った上で、遭遇した問題の簡単な説明、購入日、および購入場所を添えてご返却ください。



# APC™ by Schneider Electric ワールドワイドのカスタマーサポート

本製品、もしくは他のAPC™ by Schneider Electric 製品を対象とするカスタマーサポートは無償で、次のように提供されています：

- APC by Schneider Electric のWebサイトでは、最新の APC Knowledge Baseを閲覧できます。
  - **www.apc.com** (本社)  
特定の国の情報については、ローカライズした APC by Schneider Electric Web サイトにアクセスします。それぞれのページにカスタマーサポート情報があります。
  - **www.apc.com/support/**  
APC Knowledge Base を検索し、eサポートを使用するグローバルサポート。
- APC by Schneider Electric カスタマサポートに電話または E-mail で問い合わせることもできます。
  - 地域、国別のセンター：連絡先の情報については、**www.apc.com/support/contact** にアクセスしてください。
  - お住まいの地域のカスタマーサポートについては、APC by Schneider Electric 製品を購入された APC by Schneider Electric 営業担当または販売店にお問い合わせください。

カスタマーサポートおよび保証情報はAPCのWebサイト、**www.apc.com** で入手できます。

© 2019 APC by Schneider Electric。 APC、APCロゴ、およびSmart-UPSは、Schneider Electric Industries S.A.S.、またはそれらの関連会社。 他のすべての商標は各社の所有物です。

JA 990-4811F-003  
05/2019